学校だより

11 インディアナ日本語学校
No37(2月) 全校生 313人

真心は
きっと伝わる
ラブ注入

大人も言葉で育ちます

「とんでもございません」「全然、OKです」「ありがとうございました」「ドドスコスコスコ」など、いずれの言葉も日常的に使われていますが、以前、この使い方が正しいか間違いかの論争があったことをご存じでしょうか。以前は、「とんでもないです」「全然、ダメです」「ありがとうございます(現在形)」「ドドンパ」が正しいとも言われていましたが、今では、「とんでもございません」の使用は文化庁も認めるなど、何が正しいのかが分かりにくくなってきています。しかし、正しい言葉も大切ですが、伝える中身はもっと大切だと思います。要は伝えるものがあるかどうかです。それにしても、人は正しさやまじめだけでは動かないことがよくあります。あれだけ正しいことを伝えているのに、子どもはちっとも動かない。これだけまじめに仕事をしているのに、妻(夫)はちっとも気づかない。それぞれに、中身のある内容を伴った会話が、明日を生きる栄養になればいいですよね。ラブ注入!

お知らせ

1 休校・開校の判断
①【学校要覧】のP13のルールに基づいて決定しています。従って、当日の変更はありません。
②開校が決定していて、当日、通学状況により登校できない場合は、欠席扱いになります。
☆各家庭の通学不能状況が把握できないため、バスの不通や道路状況に起因した登校不能の場合も欠席になります。

2 保護者会より
○「保護者会便り」の配付
(新役員の紹介)

文章を書こう

1年 山本 懐(やまもと なつ)

きょう、おとうさんのかいしゃのおともだちと、アイススケートをしました。アイススケートリンクでやりました。おともだちもいっしょにすべりました。さいしょは、すこしおとうさんの手をもちました。あとは、じぶんでできました。アイススケートは、はじめてだったけどたのしかったです。

1年 松本 丈(まつもと じょう)

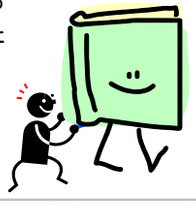
ぼくは、日本でDSILLをかってもらいました。いまもたいせつにつかっています。やりだすと、じかんをわすれて、むちゅうになってしまいます。そんなときは、おかあさんにおこられてとりあげられてかくされるのがオチです。わかっているのに、いつもこのパターンです。こんなにもぼくをむちゅうにさせるゲームをつくった人は、大天さいだとおもいます。「ああ、つづきがやりたいなぁ」

1年 河原(かわはら) みなみ

天気よほうどおり大あらしになりました。こおりのゆきがふって、しばふもサイドウォークもガレージもこおってしまいました。あるいたらすべりました。それで、そりであそぼうとおもいました。すごく、すべりました。大へんなことに、そりがかぜでとばされてこおったいけにおちてしまいました。おかあさんとおにいちゃんが、とりにいきました。ぶじにとってかえれてうれしかったです。あそんだあとのココアがあったかかったです。そりはたのしかったので、またやりたいです。

4年 スキャンラン 鳳元(ほうがん)

本を開いた　本
本をすぐとじたくなしそうだった
本をもう一度開いた
本は長い間開いたよろこんでいた
本を持っていろんな所へ行った
本を開いた
本はぼくに勇気をくれたもうすぐとじてしまわないといけない
本はぼくにありがとうと言った
本はさみしそうだった
そしてまたねと言った
ぼくもまたねと手をふった



6年 橘田(きった) 文音(あやね)

【戦争が起きないようにするには】 私は、戦争が起きないようにするにはどうするか考えてみました。まず、戦争が起きる原因は、土地を手に入れるための自国のアピールや宗教のちがいです。それを止めるには、一人ひとりの心が大事だと思います。自分の心がまがっていれば、けんかも起きるし、分からないうちに人をいじめてしまうかもしれません。そのわがままな心が、大人になっていけばもっと大きな事が起きます。自国のアピールは、簡単に言うと、本当に良い国でも悪い国になってしまいます。だから、「そんなことを言っているひまがあったら、今でも戦争をしている人たちのことを少しでも考えてあげて!」と、私は強く思います。私は、戦争をしたことがないから、戦争で苦しんでいる人の気持ちが少ししか分かりませんが、それでも、力になってあげたいと思っています。